

EXPOBICI (パドヴァ自転車展) 参観報告

イタリア、ヴェネト州パドヴァにて開催された標記自転車展は、ミラノ展(EICMA)がオートバイ展と合同となり11月開催に変更されたため、その開催時期の遅さに不満を持つ地元企業を中心に昨年より始まった。今年は、ミラノ展も本展示会と同時期に自転車だけの展示会開催を実施したが、パドヴァ展の出展社・来場者は、昨年実績を上回る結果となった。

【EXPOBICI 2009】

主催： PadovaFiera S.p.A.

会場： PadovaFiera (パドヴァ国際見本市会場)

会期： 2009年9月19日(土)～21日(月)

開催時間： 9:00～19:00 (21日は18:00終了)

使用ホール： 展示：ホール7及び8、試乗コース；ホール5及び屋外

展示：20,000㎡(昨年10,000㎡)、試乗コース；6,500㎡(昨年6,000㎡)

入場者数： 25,000人(前年22,000人)、試乗コース参加4,000名(昨年3,000名)

出展者数： 90社250ブランド(前年200ブランド) ※出展ガイドより集計



パドヴァ国際見本市会場



EXPOBICI 展入口

1. 展示会概要

今回の会場となったパドヴァ国際見本市会場は、パドヴァ駅から徒歩15分程度の距離にある。見本市会場のホール7と8の2か所を使用し、出展した主要なイタリア完成車ブランドとしては、オリンピア、ウィリエール、パークプリ及びバツソなどであった。国外ブランドでは、キャノンデル、シュイン、マンガース、GT、KONA、GHOST、スコット及びFELTなどが出展し、ミラノに負ない顔ぶれが揃った。繊維や服飾を地場産業とする当地らしく、ディアドラ、SIDIなどの同国の有カブランドも見られた。

しかしながら、ブランド数こそミラノにひけはとらないものの、ビアンキ、コルナゴ、デ・ローザなど同国を代表する有カスポーツ車ブランドの多くはミラノ展を選び、部品で同国産業界のリーディングカンパニーであるカンパニョーロが出展を見合わせるなど、地元ブラン

ドが主体の展示会とはいえ、イタリアの自転車展示会として見れば、いささか貧弱な内容であると言わざるを得ない。



パークプリ



オリンピア



ディアドラ



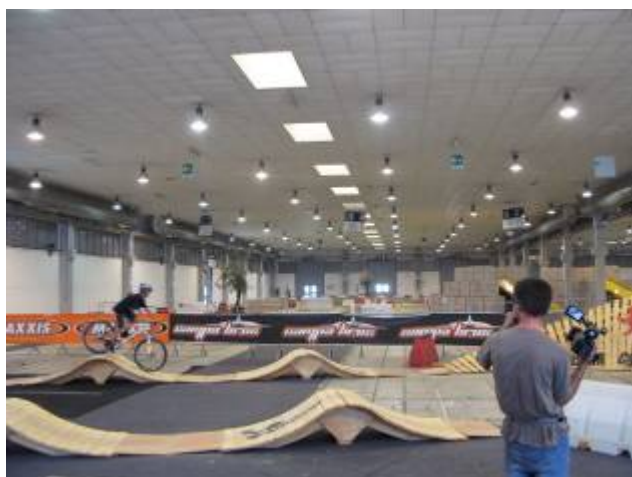
SIDI

2. 充実の試乗コーナー

同展の最大の特徴は、展示品を見るだけでなく、実際に自転車に試乗・体験できるという点である。会期中は、ホール5全体が試乗コースとなっており、一般のコースとは別に子供用コースも設けるなど、屋内コースで天候に左右されることなく試乗ができる体制を整えていた。また、イベントコーナーでは、BMXのデモンストレーションなどが行われ、自転車の楽しさを魅せる工夫にも努めていた。

本年9月にミラノ展（EICMA）も自転車だけの展示会を始めたため、既にパドヴァ展側の開催時期の利点は失われつつあり、両者は真っ向勝負の形となった。本年の両者の開催状況を見る限り、ミラノ展が同国を代表する国際展、パドヴァは地元優先の国内展という形になる可能性もある。しかしながら、両者が不毛な競争を続けるより、お互いに協力して質量ともに充実した展示会を開くことが、現在、経済不況の影響を受け低迷するイタリア自転車業界にとって必要なことである。来年以降、両出展者の顔ぶれがどのように推移するか注視したい。

なお、来年は 2010 年 9 月 18 日～20 日の 3 日間の開催予定である。



ホール 5 試乗コース



子供用コース

以 上

(デュッセルドルフ事務所)